

新人教育プログラムのご案内

薬剤部では、患者さんに質の高い薬物療法を提供するため、新人薬剤師教育に注力しています。新人教育プログラムは、基礎から実臨床業務までの幅広い知識と技術を習得するための体系的なカリキュラムで構成されています。

1. 基礎研修（3年目以上のアドバイザー薬剤師）

薬剤部では、6ヶ月間のアドバイザー制度（図1）を導入しており、内服および注射調剤・混注等の基礎スキルをスケジュールに沿って指導しています。新人薬剤師1名に対して3年目以上のアドバイザー薬剤師を1名配置し、日々の業務を通じて実践力を養います。各業務ごとにチェックリストを作成し、担当する薬剤師とアドバイザー薬剤師のシームレスかつ無駄のない情報共有を行っています。当直練習は必ず経験豊富な薬剤師と一緒にいき、当直業務への不安を取り除けるよう努めています。

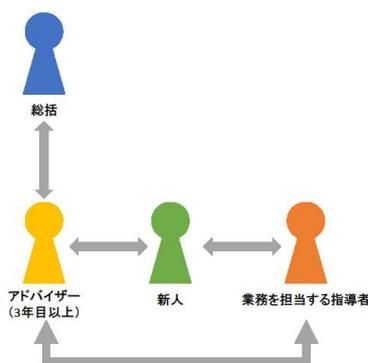


図1 アドバイザー制度

2. 臨床研修（先輩病棟薬剤師）

6カ月間の基礎研修終了後、先輩病棟薬剤師の指導の下、臨床現場での実践的な研修を行います。病棟業務や薬剤管理指導業務、患者さんへの服薬指導を通じて、薬剤師としての総合的な技術を高めます。さらに、チーム医療におけるコミュニケーション能力の向上にも重点を置いています。

3. 継続教育とキャリア支援

新人教育プログラム修了後も、新人教育プログラム（座学 図2）や部内研修会といった定期的な勉強会や専門分野での研修を通じて、常に最新の知識をアップデートできる環境を提供しています。また、各個人のキャリア目標に合わせたスキルアップ支援も行っています。

I部【中央業務対策】 講義推奨期間：4月～6月	II部【当直居残業務対策】 講義推奨期間：7月～8月	III部【新人薬剤師必須内容】 講義推奨期間：8～9月	IV部【病棟業務対策】 講義推奨期間：10月以降
<ul style="list-style-type: none"> ・ 注射業務 ・ 調剤業務 ・ 麻薬 ・ 向精神薬 ・ 抗がん剤無菌調製業務 ・ 製剤業務 ・ 持参薬報告（Part.1） ・ BDファシール閉鎖式薬物移送システム手技 ・ 医薬品の供給と管理 ・ 電子カルテのカスタマイズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小児用量 ・ 緊急を有する薬剤 ・ 中毒患者への対応 ・ TDM・感染対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全 ・ シフト・出張 ・ 外来常備 ・ 医薬品情報 ・ やってはいけないことリスト ・ 腎機能低下の薬剤 ・ 混注インシデント防止策 ・ 医療倫理 ・ 災害対応 ・ 業務シフト ・ 研修単位関連 	<ul style="list-style-type: none"> ・ PICS・WardMeister ・ 病棟業務算定 ・ 吸入指導 ・ 持参薬報告（Part.2） ・ インスリン指導 ・ 在宅 ・ NST

図2 新人教育プログラム（座学）

山口県病院薬剤師 卒後研修プログラムにも参画しており、レジデント制度の導入も検討しています。当院薬剤部では、急性期から慢性期において、効果的な薬物療法やチーム医療の推進、さら地域医療に貢献できる病院薬剤師の育成に取り組めます。
